

話し合い

目的や条件に応じて計画的に話し合う。

小グループで考えを出し合い、話し合う。

ペアで、話し合う。

| | 低学年 | 中学年 | 高学年 |
|------|--|--|---|
| 話し合う | ①聞き手の方を見て、聞こえる声で話す。 ②伝えたいことを二、三文程度で話す。 ③小グループで一人が主体になって、話し合いを進める。 | ①小グループでは、役割を決めて話し合いを進める。 ②出た意見を整理しながら、話し合いを進める。 | ①聞き手の反応を確かめながら話す。 ②話し合いを深めることで自分の新たな意見を持つ。 ③互いに質問や助言をすることを通し、考えを深める。 ④話し合いを繰り返すことで、結論に向かう。 |
| 聞く | ①話している友達を見て、終わりまで聞く。 ②友達の意見を聞いて、感想を伝える。 ③友達のよいところや自分と同じ意見、ちがう意見に気づく。 | ①友達の意見と自分の意見を比べて聞く。 ②積極的に発言したり、質問したりする。 | ①話し手の意図を読み取って聞く。 ②自分の考えとの共通点や相違点、またその理由を考えて聞く。 ③自分と違う意見も受け入れながら、根拠をもって自分の考えを伝える。 |
| 活動 | ・ペア学習 ・小グループ学習（3、4人） ・ハンドサイン（グー）同じ意見・付け足し ・ハンドサイン（パー）ちがう意見 | ・グループ学習 ・体交流 ・ハンドサイン（チョキ）質問の活用 ・司会を立てたグループ活動 →話し合いの型の活用 ・相互指名 | ・全 ・児童同士でつながる学び合い →児童同士の質問の向上 |

〇話し合い活動の取り組み

低学年

- ・お話を楽しみながら、登場人物の気持ちになって考えることから取り組んだ。吹き出しや教科書に出てくる言葉に注目して様子を想像することを積み重ねてきた。
- ・自分の思いを表現すること（書く・聞こえる声で話す）、友だちの思いを聞くこと（同じ・違うなど考えながら聞く）の練習を進めている。
- ・ペアで話す時には、相手の話に反応することも大切にしてきた。苦手な子には手本を示しながら取り組んでいる。

中学年

- ・中学年は低学年から高学年への移行の時期と考えられる。
- ・3年生では、全体での話し合いに取り組んできた。文章から読み取ったことを自分の意見とともにノートに書き、全体の話し合いをしている。友だちの意見に反応し、考えを広げていくことをめざしている。
- ・4年生では、班での話し合い活動に取り組んできた。司会（班長）を中心に話し合いを進め、少人数の中で質問をし、答えることができるよう練習している。全体での話し合いでは、その質問に他の人も一緒に考え答えていくことも行っている。

高学年

- ・グループの話し合いでは、司会を中心に話し合いを進め、聞き手（リアクションや話し手の意図を読み取って聞く。）、話し手（聞き手の反応を見て話す。）の立場を意識させてきた。また、そこで出た質問を全体につなげるようにした。
- ・テーマに沿って意見を述べる時には、理由や事例が適切か確かめたり、自分の考えと比較して共感できるところを取り入れたりするなどを意識させながら話し合い活動を行った。
- ・さまざまな話し合い活動を行う中で、その作品に合った論点を設定し意識させながら自分の考えの形成を行ってきた。また、文章の構成や表現・言葉に着目することで作品を読み深めている。